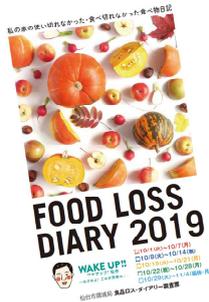


仙台市食品ロス・ダイアリー 調査結果（概要版）



令和2年3月
仙台市環境局

1 食品ロスを日記形式で記録する「食品ロス・ダイアリー」調査

- 未使用のまま捨てた「**手つかず食品**」と食べきれずに捨てた「**食べ残し**」を記録
- 調査期間：令和元年10月1日～11月4日（5週間）
- 市民モニター数：605世帯（有効回答数534件）
- 期間中一部のモニターは「**手つかず食品**」もしくは「**食べ残し**」に関する啓発事業に参加 ※以下「**手つかず啓発**」、「**食べ残し啓発**」と表記

1週間 10/10日 10/10日		1週間 10/10日 10/10日	
A 未使用のまま捨てた食品を記入 ※未使用のまま捨てた食品を記入する際は、消費期限・賞味期限を必ず記入してください。		B 食べ残した食品を記入 ※食べ残した食品を記入する際は、調理した食品・飲料を必ず記入してください。	
品名	消費期限 賞味期限	品名	消費期限 賞味期限
数量	備考	数量	備考
合計		合計	

1週間 10/10日 10/10日		1週間 10/10日 10/10日	
A 未使用のまま捨てた食品を記入 ※未使用のまま捨てた食品を記入する際は、消費期限・賞味期限を必ず記入してください。		B 食べ残した食品を記入 ※食べ残した食品を記入する際は、調理した食品・飲料を必ず記入してください。	
品名	消費期限 賞味期限	品名	消費期限 賞味期限
数量	備考	数量	備考
合計		合計	

手つかず食品



未使用のまま捨てた食品・飲料

- ・消費期限・賞味期限が切れてしまった加工食品・肉・調味料・飲料等
- ・傷んでしまった野菜や魚等

食べ残し

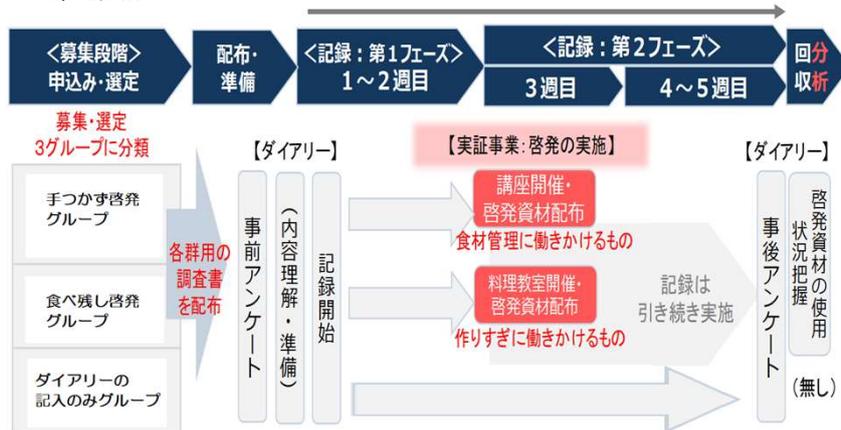


自宅で食事に用意したが食べきれずに捨てた食品・飲料

- ・調理した食事の食べ残し・飲み残し
- ・購入した総菜・弁当の食べ残し

2 調査の流れ

- モニターを①**手つかず**啓発グループ、②**食べ残し**啓発グループ、③ダイアリーの記入のみ、の3グループに分け、①②のグループはダイアリーの記入に加え、啓発事業に参加



3

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

3 主な調理者の年代

- 主な調理者の年代はダイアリーの記入のみグループでは30代～60代以上にほぼ均等に分布
- **手つかず**啓発グループでは40代がやや高く、**食べ残し**啓発グループでは60代以上がやや高い

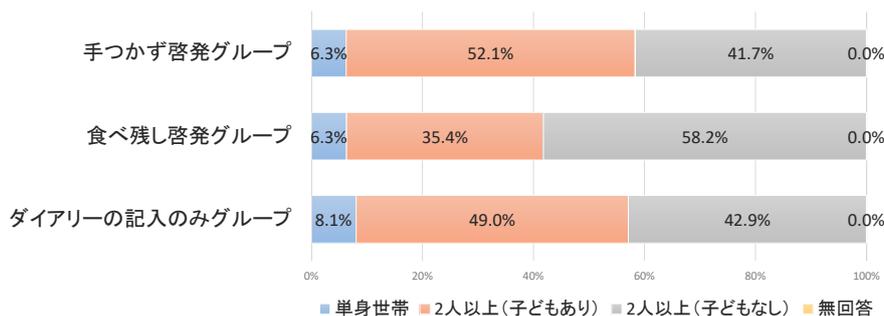


4

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

4 世帯構成

- **手つかず**啓発グループとダイアリーの記入のみグループでは「2人以上子どもあり」が約半数
- **食べ残し**啓発グループでは「2人以上（子どもなし）」が6割近い



5

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

5 「手つかず食品」と「食べ残し」の発生状況

- 「**手つかず食品**」の発生件数は1,776件で1世帯あたり約4.9件の廃棄
- 「**食べ残し**」では2,147件で1世帯あたり約6.0件の廃棄

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	合計
手つかず食品件数	477	340	318	314	327	1,776
食べ残し件数	535	436	419	384	373	2,147

【ダイアリーの記入のみを実施した359世帯の5週間の発生件数】

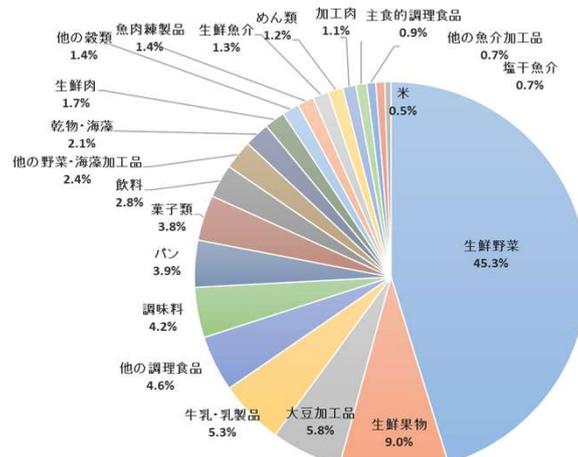
- 申込時に「**手つかず食品**」の廃棄について確認したところ「ほとんどない」と答えた世帯でも平均2.7件の廃棄が発生していた。「**食べ残し**」では平均2.8件発生しており、記録することで、食品ロスの発生実態が認識できた

6

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

6 廃棄された「手つかず食品」の種類

- 「**生鮮野菜**」がトップで45.3%、「**生鮮果物**」9%と合わせると約半数
- 次いで豆腐や納豆などの「**大豆加工品**」



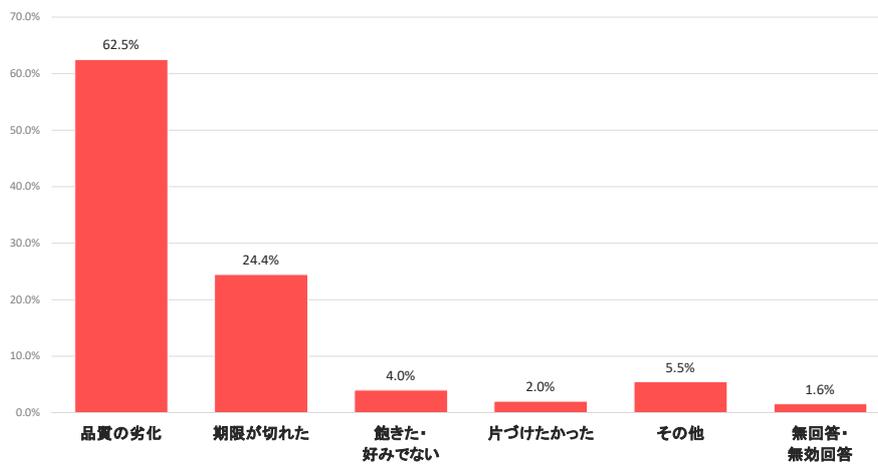
【 廃棄された手つかず食品の種類 (1,776件の内訳) 】

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

7

7 「手つかず食品」を捨ててしまった理由

- 理由は「**品質の劣化**」が最も多く、「**期限が切れた**」と合わせると約9割
- 品目別にみると生鮮野菜・果物では「**品質の劣化**」が約9割。「菓子類」「他の調理食品」は「**飽きた・好みでない**」も20.9%、17.1%と他の品目に比べて高い



【 手つかず食品を捨てた理由 (1,776件の内訳) 】

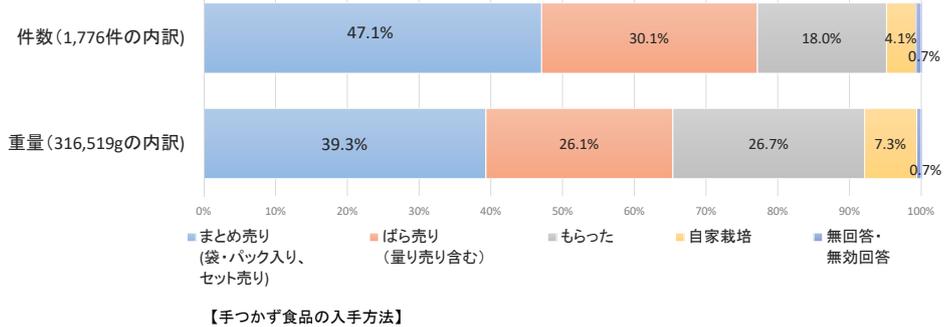
—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

8

8 「手つかず食品」の入手方法

廃棄された食品はどのようにして手に入れたものだったか。手つかず食品全体の件数と重量の割合

- 「まとめ売り」で買ったもの（件数）が全体の約半数
- 重さでみると「まとめ売り」が約4割、続いて「もらった」と「ばら売り」が同程度

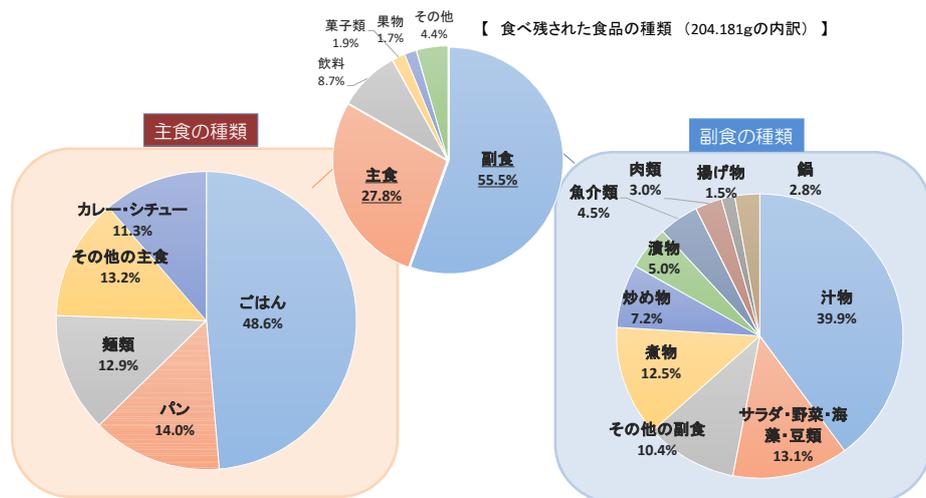


9

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

9 廃棄された「食べ残し」の種類

- 「副食」が約6割、「主食」が約3割だった。副食では「汁物」、主食では「ごはん」が最も多い食べ残しだった

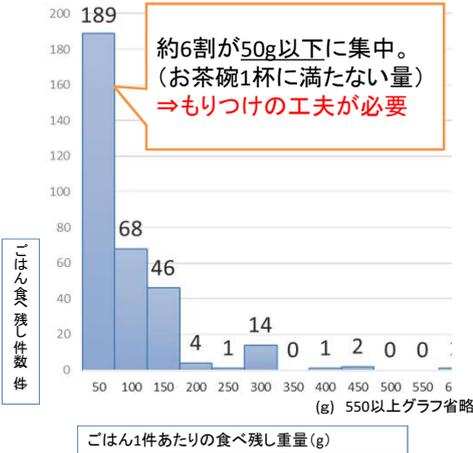


10

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

10 「食べ残し」の1回あたりの量

主食のトップ「ごはん」では



副食のトップ「汁物」では

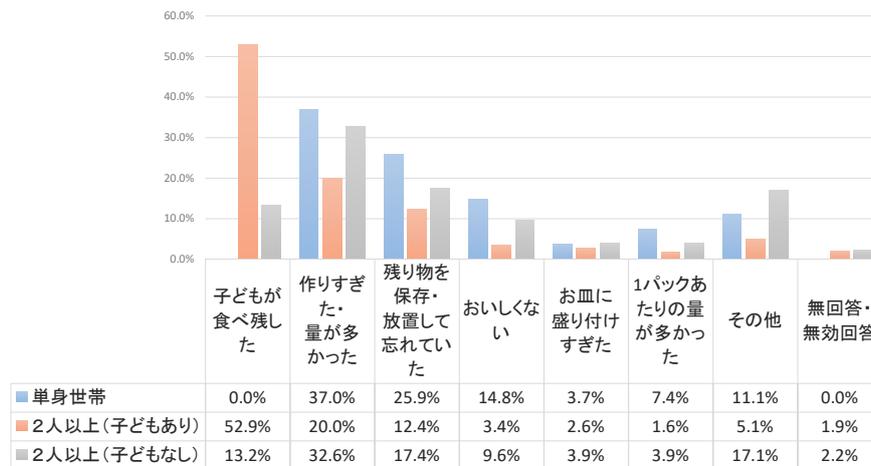


11

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

11 「食べ残し」がでしてしまう理由①

- ▶ 子どもがいない2人以上の世帯では「作りすぎた・量が多かった」が、子どもがいる2人以上の世帯では、「子どもが食べ残した」(52.9%)が最も高い理由



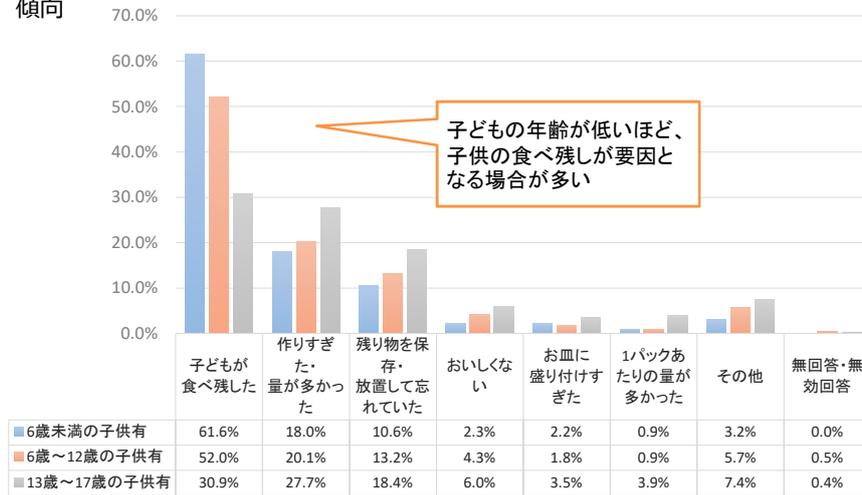
【 食べ残しの発生理由(世帯構成別) 】

12

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

12 「食べ残し」がでてしまう理由②

- 低い年齢の子どもがいる世帯ほど「子どもが食べ残した」が高くなり、「作りすぎた・量が多かった」「残り物を保存・放置して忘れた」などの項目で低くなる傾向



【 食べ残しの発生理由(年齢別子どもの有無) 】

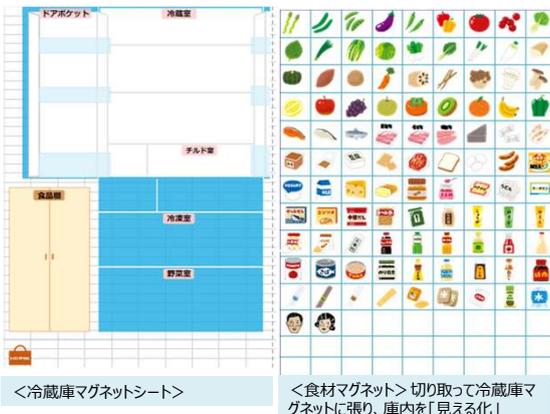
13

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

13 「手つかず」啓発グループ

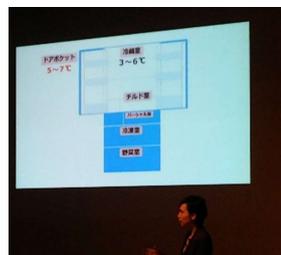
冷蔵庫収納・食品保存講座

- 調査期間中に「手つかず」食品削減に関する啓発を実施
- 冷蔵庫収納と食品保存についての講座
- ホワイトボードとマグネットで食材管理を提案
- 冷蔵庫を「見える化」して「うっかり買い」や家庭内での重複買いを防ぐヒントを紹介



<冷蔵庫マグネットシート>

<食材マグネット> 切り取って冷蔵庫マグネットに張り、庫内を「見える化」



講師は食品ロス削減の市民リーダー「せんだい食エコリーダー。」

14

14 「食べ残し」啓発グループ

適量調理のコツ 調理実習講座

- 調査期間中に「食べ残し」削減に関する啓発を実施
- 2018年度調査で廃棄が多かった「みそ汁」を題材に調理実習を開催
- 人数に合わせた適量調理についてコツを紹介
- 「計量」をすることで作りすぎを防いで、おいしく無駄なく作れるポイントを紹介



<計量のポイント>
計量するときは平らなところにおいて計量



講師は食品ロス削減の市民リーダー「せんだい食エコーリーダー。」

15

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

15 食品ロス・ダイアリー調査に参加しての“行動変化”

<買い物や食品保存について調査前と後でアンケートを実施し、比較>

どのグループでも事後アンケートの方が食品ロス削減に関する意識が高くなった。特に啓発を受けたグループでは全般的に高い

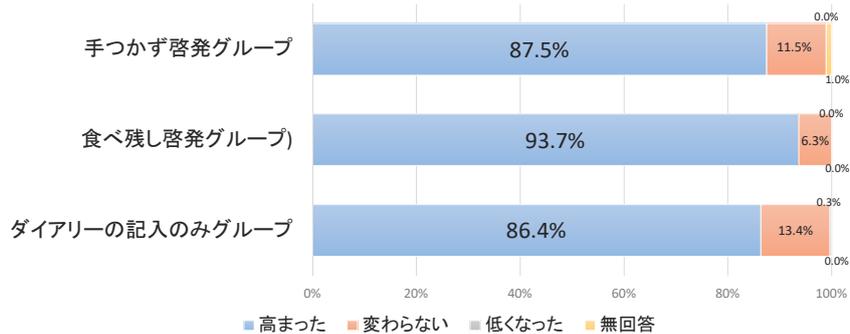
- 「セール品や値引き商品をよく買う」と答えた世帯が、どのグループでも減少しており、衝動的な買い物行動を控えようという意識が働いたと推察される
- 事前アンケートでは「野菜は保存の向きを工夫している」と答えた世帯はどのグループも3割前後だったが、事後ではダイアリーの記入のみのグループは4割、啓発グループでは5割強が「工夫している」と回答。特に手つかず啓発グループでは約23%増となった

16

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

16 食品ロス・ダイアリー調査に参加しての「意識変化」

事後アンケートの「食品ロスを減らそうという意識が高まったか」については、どのグループとも「高まった」が85%以上だった



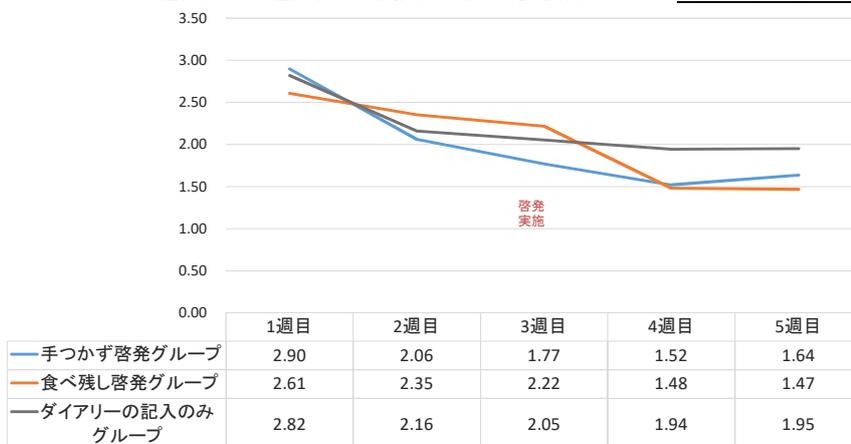
【食品ロスダイアリーに参加しての、食品ロス削減意識変化】

17

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

17 食品ロス発生件数の変化とダイアリーの効果

啓発を受けた世帯・受けていない世帯に関わらず、食品ロスを記入することで、調査対象者の意識や行動の変化が促され、1週目と5週目を比較すると食品ロスが減少している



【食品ロス廃棄件数週次変化(1世帯あたり:件)】

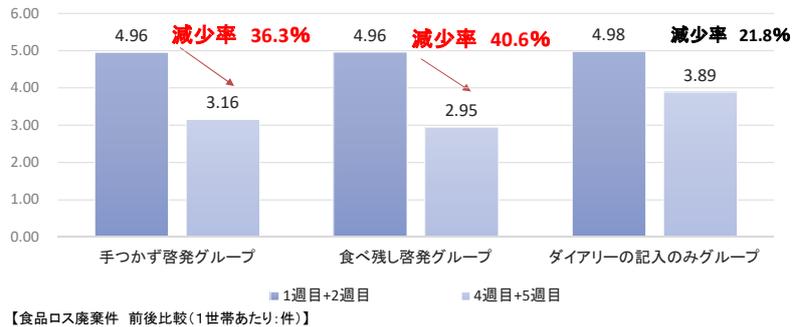
18

—2019年度 食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版

18 食品ロス発生件数の変化と啓発の効果

食品ロス・ダイアリーへの記入に加えて、啓発を実施することが食品ロスの減少に効果的

- 「**手つかず**」「**食べ残し**」の啓発グループでは、1 + 2 週目の廃棄件数がダイアリーの記入のみグループより多かったが、受講後の4+5週目は低くなった
- どのグループでも減っているが、減少幅は啓発グループの方が大きい



19

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版



仙台市食品ロス・ダイアリー調査

- 調査実施主体：仙台市環境局家庭ごみ減量課家ごみ減量課
- 調査委託先：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- ※本事業は環境省（平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）を活用して実施

—2019年度 仙台市食品ロス・ダイアリー市民モニター調査結果 概要版